



FUKUSHIMAものづくり 企業ファイル(No.11)

このコーナーでは、福島市に立地しているものづくり企業の知られざる魅力にスポットをあて、紹介します。

今回は「(株)サンワ」さんです。



“仲間を想う気持ち”の強い社員が魅力の会社です。皆さまとなじみの深いグッズもお手伝いさせていただきました！

地域の皆さまに「サンワで良かった」と思ってもらえるよう日々精進して参ります。ご協力いただけるパートナー企業様と共に働く仲間を随時募集しております！！



「お客様の創りたいをカタチにする」をモットーに、缶バッジ、アクリル製品など数百品種に及ぶグッズを企画、製造、販売しています。誰もが一度は手にした事があるような有名キャラクターグッズなどを幅広く扱っており、令和元年12月福島市に自社工場を開設しました。

ものづくりで福島から喜びを届けます！

株式会社サンワ
福島工場

【会社概要】

所在地：福島市飯野町明治
(本社 埼玉県戸田市)

代表者：代表取締役社長
山川 景子

設立：1979年2月27日

資本金：5千万円

社員数：288人
(グループ全体400人)

主要製品：アクリル・缶バッジ製品

連絡先：☎048-431-0055
(本社 総務課)

■問／企業立地課 ☎525-3723

クローズアップ



代表取締役
山川 景子 社長

👉 福島工場の仲間

福島市の方々には、この度の進出において親身にサポートしていただきました。工場働く皆が、明るく、一所懸命に仕事に取り組んでくれており、設立1年にして素晴らしい仲間恵まれたと感じています。

👉 私たちが大事にしていること

理念の実践を重視しています。ものづくりを通して喜びや感動を創造できるよう、仲間と共に日々研鑽しながら前向きに仕事に取り組んでいます。



We Love♥ ふくしま！

第34回『ふるさと』

昨年末、医療危機が迫る中で決定した緊急医療支援2300万円に、ふるさと納税の新型コロナウイルス感染症対策指定分を活用させていただきました。本当にありがたく、寄付いただいた皆さまに厚く感謝申し上げます。

ふるさと納税の額は、12月分だけで約5億円、12月までの今年度累計額は6億7千万円、前年度総額の4.5倍にもなっているのです。

返礼品競争を抑制する制度改正がなされ、全国的には減少が予想されている中でのこの増加。本市のテコ入れ*の成果も一定程度あるものと推察されますが、今年度特有の要因が大きいのではないのでしょうか。

一つにはコロナ禍の中、帰省したくても帰れず、都会でも人と人の触れ合いが少なくなり、ふるさとへの想いを募らせた方が多かったのではないかと。本市が4月に公開したオンライン帰省動画も全国的に話題になり、2万人も

の方々に視聴いただきました。

もう一つは、朝ドラ「エール」によって福島市や福島復興への関心が高まったこと。「福島市の復興」にと指定して寄付する方が、今も圧倒的に多いのです。「エール」は私たちを直接励ましてくれただけでなく、このような形でエールを送ってくれたのです。

感染拡大が進む中、首都圏などからの帰省はできる限り控えていただかなければなりません。しかし、決して冷たく拒絶してはいけません。

古関裕而さんは、「(少年時代の福島の)風物が私の全体の中にあると思っている」と語っています。ふるさとは心にあたたかく残るもの。あたたかい思いを裏切らないようにすることが大切でしょう。辛抱いただくときは辛抱をお願いし、迎えることができるときが来たら、熱く歓迎したいものです。

福島市長 木幡 浩

*福島市のまちづくりに賛同して寄付いただく方式に切り替え、お墓参り代行など課題解決型サービス、市内企業の製品などを返礼品に加えるとともに、全国的な広報を強化しました。